





【図2 川野選手との交流の様子】

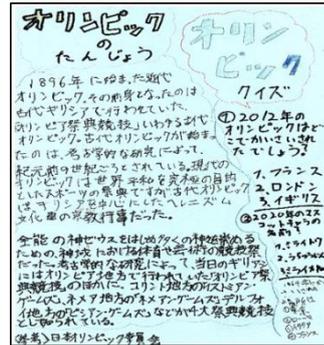


【図3 自己の生き方について考え、まとめる様子】

5年生

実践1 「オリンピックの歴史や変遷について調べよう」

ICT機器（タブレット）を使い、オリンピックの歴史や変遷について調べ学習を行なった（図4）。また、調べたことをリーフレットにまとめ、発表を行った（図5）。



【図4 調べ学習を行う様子】

【図5 まとめたリーフレット】

実践2 「芦小5-1オリンピック」

「自分達がスポーツを楽しめること」を目標にチーム作りやルール作りを行わせ、実際に競技を体験した（図6）。

新しいグローブを嬉しそうに使い、練習や試合を行っていた。



【図6 競技を体験する様子】

## 6 主な成果

### 4年生

- 実施前と比べて「夢」について語る事ができる児童が増加した。
- 学んだことを校内に掲示し、全校児童に情報発信をする姿が多くみられた（図7）。

（児童の感想）

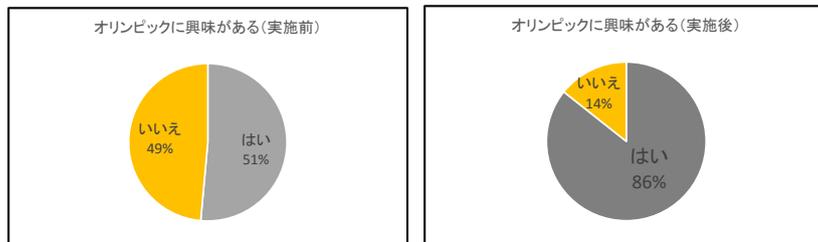
- ・ 川野選手の話聞いて、夢を追いかけことの大切さを感じました。夢は変わるかもしれないけれど、今の夢を大切にしていきたいです。
- ・ 今まで、オリンピックしか興味がなかったけれど、パラリンピックも見たいと思いました。そして、川野選手を応援したいです。
- ・ 私もオリンピックに出たいと思いました。



【図7 掲示物】

### 5年生

実施前と実施後に行ったアンケート結果において、「スポーツに興味・関心がある」、「オリンピックに興味がある」の項目に関して成果が見られた。アンケート結果は以下の通りである（図8）。



【図8 オリンピックに興味がある児童の割合の変化】

私は他の人の発表を聞いて、吉田さおりさんを調べていた人がいいと思いました。理由は吉田さおりさんのすごさと、たくさんかいていたので、吉田さおりさんのすごさがわかったからです。また他の人のことも知りたいです。

ぼくはこの学習を通して、オリンピックはとてもおもしろいと思いました。理由は、インターネットで調べてみると、たくさん出てきたし、他の班の発表を聞いて、それぞれの種目にたくさん歴史があってとてもおもしろいと思ったからです。ぼくは、バスケットボールについて調べたけど、他の種目についてもくわしく調べたいと思いました。

【図9 児童の感想】

<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p><b>4年生</b> パラリンピアンに直接お話を聞くことで、パラリンピックへの関心をとても高めることができた。講話前と、講話後の学習の時間をしっかりととることで、思いを高めるようにした。</p> <p><b>5年生</b> 実践1について ICT 機器 (タブレット) を有効活用し、目的に沿った調べ学習を行なった。</p> <p>実践2について ルール作りを行わせる中でPDCA サイクルを意識させ、計画を綿密に練らせた。また、前学年では「ボッチャ」を体験しており、2年間かけて様々な競技を体験することができた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>○ 新型コロナウイルス感染予防に伴い、「人との距離を確保」した実践の工夫が求められる。また、学校全体で道具が少ないので、児童数が増えた場合、道具の確保が課題になる。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>○ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い「東京オリンピック」が来年度に延期された。そのため、来年度も総合的な学習を通して、オリ・パラ教育を行い、子どもたちが運動に興味・関心をもつことができるような機会を設けたい。</p>